



令和7年度 高崎学園 つくば市立荊崎第一小学校 グランドデザイン

【茨城県教育目標】

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

【校訓】

至誠（やさしく） 勤労（はたらく） 協和（みんなで）

【学校教育目標】

自ら学び考え 未来を切り拓く子どもの育成

【つくば市教育目標】

- みんなが幸せを実感できる学園学校・幼稚園
- 自己実現できる学校
- みんなで支え合い、みんなが生き生きした学校

【高崎学園教育目標】

- ともに学び 心豊かに新時代をたくましく生きる
- 社会力をもった子どもの育成

【組織目標】

- 自他のよさを認め合い 支え合い 笑顔あふれる学級・学年づくり
- 自ら考え 他者と協働し 高め合う授業づくり

<めざす学校像>

- ・子どもが生き生きとした学校
 - ・職員のチームワークがある学校
 - ・保護者や地域に信頼される学校
- 子どもが中心

<めざす児童像>

- ・自ら学ぶ子
 - ・明るく思いやりのある子
 - ・元気でたくましい子
- 一人一人が幸せ

<めざす教師像>

- ・人間性豊かな教師（情熱、思い）
 - ・信頼される教師（誠実、謙虚）
 - ・行動し実践する教師（機動力）
- チームで対応

笑顔あふれる
荊崎第一小学校

「笑顔」

「達成感」

「場の設定」

「管理」から
「自己決定」へ

「教え」から
「学び」へ

「非認知能力
の再確認」へ

自ら学ぶ子

○新たな問いへとつながる学びの工夫

- ・単元全体を通しての授業構想
- ・1単位時間のねらいの明確化（ゴールの姿をイメージ）
- ・ユニバーサルデザイン化の推進
- ・個別双方向の学びの推進（試行錯誤、アウトプット、振り返りの充実）

○ワクワク感を与える指導の工夫

- ・児童にワクワク感を与える課題提示
- ・考え続ける場面の設定
- ・伝え合い、深める活動の充実
- ・児童が楽しいと感じる授業の実践

○家庭学習を習慣化させる指導の充実

- ・計画と実践の見通しをもった取組の工夫（計画表作成、学年×10分以上）
- ・自主学習の具体的例示による指導

○自律型学習の推進

- ・一人一台端末の効果的な活用
- ・個に応じた学び方の工夫促進

- ・授業が分かると感じる児童 85%
- ・対話的な学びで考えを深めている児童 80%
- ・家庭学習を工夫できる児童 80%

明るく思いやりのある子

○自己肯定感・自己有用感の育成

- ・向上心、好奇心をもたせる指導の充実
- ・仕組んで認めて伸ばす指導の推進
- ・合意形成を大切にした特別活動の推進
- ・挑戦が称賛される学級・学年づくり

○よりよいコミュニケーション能力の育成

- ・学年に応じたあいさつの意識化と推進
- ・教職員による声かけ、心かけの推進
- ・協働のよさを味わえる授業づくり
- ・異学年及び学園内交流活動の充実
- ・居心地のよい学級づくり

○心に響く道徳教育の推進

- ・「考え、議論する道徳」の実践
- ・自己と向き合う時間と場の設定
- ・人権教育の充実によるいじめ未然防止
- ・読書活動の量的、質的充実

- ・自分にはよいところがあると感じている児童 85%
- ・気持ちのよい挨拶ができる児童 80%

元気でたくましい子

○進んで運動に取り組もうとする態度の育成

- ・外遊びの奨励と職員による共遊
- ・体力テストの結果を生かした体づくり
- ・運動量を確保した体育授業の実践

○危険予測・回避能力の育成

- ・様々な災害や場面を想定した実効性のある避難訓練等の実施
- ・交通安全教室の実施
- ・情報モラル教育や薬物乱用防止教室
- ・SOSの出し方教室の実施

○望ましい食習慣の形成と食の自己管理能力の育成

- ・栄養教諭による食に関する指導の充実
- ・朝食摂取100%に向けての取組推進
- ・保護者との連携強化による食習慣の形成

○基本的生活習慣の確立と健康意識の向上

- ・ルールメイキング、黙働清掃
- ・養護教諭による保健指導の充実
- ・感染症対策の日常化

- ・外遊びを進んでしている児童 80%
- ・体力テストA+Bの割合 前年比 -2%
- ・校内事故の前年比 減少

保護者・地域とともに歩む学校

○教育活動の積極的な情報発信

- ・ホームページの更新
- ・各種たよりの発行
- ・スクリレの積極的活用

○保護者・地域との連携・協働

- ・読み聞かせ、はやぶさ教室
- ・交通安全、防犯パトロール
- ・地域人財や教材の活用
- ・コミュニティスクール推進

○学校評価の充実、改善と

- 校内コンプライアンスの確立
- ・2回の学校評価の実施
- ・職員の資質能力の向上
- ・ボトムアップ型研修の充実

○働き方改革の推進

- ・職員の連携によるパフォーマンス向上
- ・保護者・地域への理解推進